



ひとにやさしく かんばりすぎずに継続し 勇気をもって しっかり学ぶ 東っ子! 413名

【今回の学校だよりも、電子媒体でのみの配信となります。児童用には教室に先生方が掲示していただいています。(〽)】

1年生の皆さんのために飯塚市立

図書館庄内館の先生方が

よみきかせに来てくださいました。



坂田先生より・・・「白熊のパンツの話」を読んだ時今日皆さんのリアクションがうれしくて、朝から楽しかったです。

いつかまた、みなさん。近いうちにぜひ 庄内図書館で待っていますね。

樋口先生より・・・おうちのかたと庄内図書館にカードをつくりに来てください。「ティッチ」という本のタイトルをいつかまた思い出してください。

今日(6/5)は「お昼のもくもく読書の日」でした。



今日は、お昼休みの後の「もくもく読書の日」でした。図書委員会のお姉さんのアナウンスでたった10分間でしたが、スタートしました。私は、取材をさせていただき写真を撮りに全校回らせていただきました。ゴールである6年生までのすべてのクラスを回り終わったときに、ある衝撃にかられました。その思い出したことは、私は図書館協議会主催の講演会で大牟田市出身の児童文学者で絵本作家の内田 麟太郎さんが、ご講演の中で次のような言葉を5つおっしゃっていたことを思い出したのです。

①感性を豊かにするためには読書の時は、先生も一緒に子ども達と同じ空間で本をよんでください。②子ども達が本の世界に旅しているときに違うことをして邪魔をしないでください。③子ども達の読書の時間を奪わないでください。④よみきかせの時は、あまり激しく抑揚をつけずに自然な感じでよんでください。⑤さいごに、まさか、よみきかせの時に子ども達に感想など言わせている方はいませんよね。オープンエンドでよいのです。あなたが読んだ後に子ども達の心に素敵な世界がじわじわと広がっていきます。(右写真は6年生の皆さんと5年生の皆さんです。)

私は、今も自宅に凛太郎さんのサイン入りの絵本を見ては「次はどんなお話を子ども達に読もうかな～」と考えるのです。・・・そうでした。私は子ども達が読む時間写真などを撮りまわっては子ども達の本の世界への扉を開めるかのように邪魔していました。次のチャンスには同じ時間に教室は違っても共に読もうと思います。(〽)つまり写真を松尾史朗は次の読書タイムは取りにま

いりませんことをお伝え(宣言)します。(〽)

ps ある学校の実践でも、先生も生徒も児童もみなさん一緒に読んでいるニュースを見たことがあります。カメラマンさんは教師ではないのでニュースにしているのですが、私は教師ですので一緒に次回は読ませていただきます。今日は、これも感性を育てる「レイニーブックフェス」の取り組みの1つですね。(*^_^*)

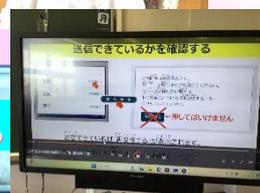




「お昼のもくもく読書をする4年生のみなさん～1年生のみなさん」の様子(ラスト)



「5年生のみなさん福岡県学力調査(県学調)お疲れさまでした。」



5年生の皆さん、県学力調査(県学調)本当に頑張っていました。GIGA スクール構想によって小・中・高等学校で1人1台端末が整備されました。それに機に学習や試験をコンピュータやタブレット端末などで実施するCBT化されたテスト形式でした。CBT化とは、これまで紙で行ってきた個別学習や試験などを、端末で行う方式に移行することです。CBTは「Computer Based Testing」の略で、一般的にはコンピュータを用いた試験方式とされています。ネット環境が本校はよくなかったため、スタートまでに時間がかかって申し訳なかったと思います。本番と俗に言われている6年での全国学力学習状況調査(全国学調)に向けて、今後は環境をもっとより良くできるよう改善要求および実現に向けて働きかけてまいります。関係の先生方ありがとうございました。



6/12～修学旅行のしおりをいただきました。6年生の皆さんありがとうございました。

私もしっかり事前学習させていただきます。
久家さん、川上さんありがとうございました。

